

平成20年度「小中高 夢のかけ橋推進事業」実施報告書

東京都立府中東高等学校

全日制課程

1 計画の概要

本校は、学校経営計画において、都立府中特別支援学校をはじめとする地域との交流活動を目標・重点に挙げ、平成20年度には「小中高 夢のかけ橋推進事業」連携推進校の指定を受けて、一層積極的な展開をしている。

- 1 府中特別支援学校との交流はすでに30年余に及び、本校では毎年度、交流事業委員会を組織し、府中市教育委員会、近隣小・中学校等と共に、府中特別支援学校の交流教育連絡会を構成して事業に当たっている。
- 2 3年次の自由選択科目「保育」の受講生徒は、近隣の押立保育園において夏季休業期間中に一人一週間の保育実習を毎年実施し、幼児との交流を通じて地域との連携に取り組んでいる。
- 3 「トライ&チャレンジ」活動においては、本校では年間二つの時期に部活動体験キャンペーンを実施しており、府中や調布市などの地元にとどまらず、多摩地域の広範囲の中学校からの参加も見られるようになり、年々その事業は拡大・充実してきている。

2 実施内容

1 都立府中特別支援学校との交流

特別支援学校の「夏まつり」（平成20年度は7月20日）の企画、景品準備及び当日の準備と運営の手伝い、互いの文化祭での交流、特別支援学校での交流授業参加（平成20年度は12月12日）など、本校の生徒会と有志生徒、交流事業委員会の教員に加え、PTAからの参加も得て実施している。

2 「保育」の保育園実習

毎年度、20名前後の生徒が夏季休業期間を通じて一週間の乳幼児の保育実習を経験している。押立保育園と本校担当者との事前打合せを綿密に行い、インターンシップの要素をもった貴重な取組を実施している。

3 「トライ&チャレンジ」による部活動体験

今年度は、合計14部活動による中学生の部活動体験を夏季休業中及び11、12月に実施した。教務部の募集対策担当と部活動顧問が連携して実施している。特に剣道部は、二度の部活動体験で100名余の中学生が参加するなど、地域の中学校剣道部との大規模な合同練習となっており、本校にとどまらず地域における剣道の活性化に貢献する事業となっている。



3 成果と課題等

【成果】「小中高 夢のかけ橋推進事業」の実践を通して、地域の保育所や中学校、特別支援学校などとの交流が深められた。これらの活動を通じて、地域の府中東高校に対する理解と信頼を増すことができるようになってきた。

また、本校生徒にとっても貴重な体験であり、高校生としての自覚や自信をもち、自身の視野を広めることにつながっている。

【課題】本事業に参加する生徒・部活動の数を増やすことで、学校としてのより組織的・全体的な取組に高めていくことが必要である。